

分野	人体の構造 看護学 介護支援学
研究テーマ	介護の課題と方向性 ストレスの計測と改善 留学生教育 国試対策教育 性教育の実施と性教育による意識の変化
キーワード	介護 留学生 ストレスケア 国試対策 園芸
所属学会等	日本介護福祉教育学会 日本介護福祉士養成協会 外国人留学生支援委員会 日本赤十字社佐賀県支部協力員
特記事項	



URL : <http://er.nisiky-u.ac.jp/DYU0220>

【日本で介護福祉士を目指す留学生への取り組み紹介】

日本は、少子超高齢社会となり介護が必要な高齢者を介護する人材が大幅に不足します。佐賀でも2025年度に1147人の介護職員が不足、2040年度に4769人が不足すると予測されています。すでに現場では多くの介護施設で人材不足に悩まされています。西九州大学短期大学部では、2018年度より、介護福祉士になる為の留学生の入学受け入れを開始するために、施設団体、県の協力のもと介護福祉士の修学貸付金が日本人保護者だけでなく、留学生のサポート施設も保証人になれることとなり、学費の貸付を受けながら、学ぶルートが開始となりました。1年目に15名、2年目22名、そして2024年度は30名近くの留学生が介護福祉士の勉強を始めています。現在100名程の留学生が卒業し、佐賀県内外で介護福祉士として活躍しています。この留学生の多くが、現在内乱中であるミャンマーからの学生です。4回程訪れた、美しかった



街、優しかった人々は揺れ動く情勢の中苦しい日々を過ごしておられます。日本を救う外国人介護人材の制度が、苦しむミャンマーの人々に対するほんの僅かではありますが手助けになるという一面も持っています。また超高齢社会の最先端での介護を学ぶことは、それぞれの母国での高齢化に向けた対策にもなります。

しかしながら、留学生が日本語で日本人と一緒にペースで介護を学び、日本語での国家試験を受け合格することは大変なことです。慣れない日本での生活、学問と生活のためのアルバイトの両立、慣れない自転車での通学、母国とあまりにも違う生活習慣、2～20倍近く高い物価、その大変さに、体調を悪くする留学生もいました。その中で国試に合格するためのいろいろな取り組みを行い、学生も必死に頑張り、全国でも高い合格率という成果を出すことができました。そのことについて、写真を交えてご紹介致します。

【 研究活動の紹介 】 介護福祉コース教員の研究活動内容の一例

※介護福祉士養成施設に在籍する外国人留学生に対する[国家試験対策](#)についての一考察

※リハビリスタッフから見た[介護職の魅力と課題](#)

※発達障害のある子どもの保護者に対する[ストレス緩和ケア](#)の効果に関する研究

※デイケアでの[コグニサイズ](#)の導入～身体機能・認知機能に与える影響についての検討

※江北町健康ポイント事業による[住民の行動の変容と意識の変容](#)

※介護実習Ⅱにおける介護過程の展開～介護実習における[介護過程の理解度を検証する](#)～

※介護福祉士の[質の向上と卒後教育の在り方](#)－卒後講座の再考－

※[介護予防の実践結果](#)－つま先立ち・ます計算等を使って－

※[高校生への性教育](#)とアンケート結果～中学校及び高校における性教育～等・・・



【 高校生のみなさんへ メッセージ 】

高校生の皆さん(^_^) こんにちは。

介護福祉コースでは、介護の事だけでなく、様々なことに取り組んでいます。

[介護はとてもやりがいのある仕事](#)です。

そして、[人の役に立つ仕事、人に喜んでもらえる仕事](#)です。

[海外からも、注目されている日本の介護技術と知識](#)。

日本の人材不足の理由だけでなく、日本の介護を学びに多くの留学生が来ています。

日本で5年ほど経験を積んだ後は母国で日本語や日本の介護を教えたり、介護施設を作るという志で来ている留学生もいます。ずっと日本で介護をしていきたいという留学生もいっぱいいます。実際に介護に携わる[留学生と話をしてみてください](#)。

